

## 公共施設再配置対象施設総量の増減

～更新・解体などにより353施設887棟に～

### ■公共施設再配置対象施設数は357施設から353施設へ

白書2012では、再配置対象施設数を357施設887棟と整理していました。しかし、平成24年度中の施設の更新（建替）や解体などによる施設別データの見直しから、公共施設再配置対象施設の総量が増え、施設数は353施設884棟になりました。

公共施設再配置対象施設の総量の主な変更理由は次のとおりです。

### ●施設総量の主な変更理由

平成24年度中に更新、用途変更または解体された公共施設は次の14施設です。

#### 【更新】→1件：909.35㎡（更新前：531.89㎡）

##### ①白ばら園（平成25年3月移転更新／施設別データP220）

（理由）老朽化した児童発達支援センター・白ばら学園を、平成23年度に建替えした室場保育園との複合施設（室場なかよし園）に移転更新（鉄筋コンクリート造2階建）し、施設名称も「白ばら園」に改称した。

#### 【用途変更】→1件：531.89㎡

##### ①文化財整理室（平成25年4月所管替／施設別データP175）

（理由）既存の文化財収蔵施設が飽和状態で新たな文化財収納スペースが必要であったことから、室場なかよし園へ機能移転し廃止となる旧白ばら学園園舎について歴史資料等を一元的に収納・調査する文化財収納施設に用途変更して再利用した。※平成25年度公共施設再配置モデル事業

#### 【解体（一部解体も含む）】→9件：1,591.53㎡

##### ①幡豆支所東側倉庫（平成24年7月／施設別データP4）

（理由）敷地が借地であったため、倉庫収蔵品を幡豆支所（3階）議場へ移設し、解体（鉄骨造2階建・延床面積240.70㎡）した。

※平成24年度公共施設再配置モデル事業

##### ②旧大給駐在所（平成24年8月／建物解体により施設別データ無）

（理由）老朽化に伴い解体（木造平屋建・延床面積57.02㎡）した。

##### ③旧一色郷土資料館（平成24年12月／建物解体により施設別データ無）

(理由) 老朽化及び跡地の資産運用のために解体(木造平屋建・延床面積216.30㎡)した。

※平成24年度公共施設再配置モデル事業

④父橋住宅の一部(平成24年12月/施設別データP304)

(理由) 老朽化に伴い解体(コンクリートブロック造平屋建・延床面積35.29㎡)した。

⑤遠ノ子住宅の一部(平成24年12月/施設別データP310)

(理由) 老朽化に伴い解体(木造平屋建・延床面積112.20㎡)した。

⑥治明住宅の一部(平成24年12月/施設別データP311)

(理由) 老朽化に伴い解体(木造平屋建・延床面積142.50㎡)した。

⑦赤羽住宅の一部(平成24年12月/施設別データP313)

(理由) 老朽化に伴い解体(木造平屋建・延床面積57.00㎡)した。

⑧藤江住宅の一部(平成24年12月/施設別データP316)

(理由) 老朽化に伴い解体(木造平屋建・延床面積114.50㎡)した。

⑨旧吉見邸(平成25年3月/建物解体により施設別データ無)

(理由) 著しい老朽化に伴い安全性が確保されていないため解体(木造平屋建・延床面積616.02㎡)した。

※平成24年度公共施設再配置モデル事業

**【借地返却】→3件：2,586.30㎡**

①吉良支所西側駐車場(平成24年10月/施設別データP3)

(理由) 合併により利用者が減少したため(269.00㎡)

※平成24年度公共施設再配置モデル事業

②幡豆支所東側職員用駐車場(平成24年10月/施設別データP4)

(理由) 合併により利用者が減少したため(1,854.30㎡)

※平成24年度公共施設再配置モデル事業

③花ノ木保育園職員用駐車場(平成25年3月/施設別データP190)

(理由) 土地所有者の希望により(463.00㎡)

**■公共施設再配置対象施設の総量は△4施設・△3棟に**

こうした理由により、白書2013における再配置対象施設の施設数、棟数、延床面積、敷地面積の総量は(図表1-1)のとおりとなります。また、再配置対象施設の353の施設分類ごとの内訳は(図表1-2)となります。

(図表 1-1) 公共施設再配置対象施設の総量

(白書 2013 版)

データ区分	白書 2013	白書 2012.	増 減
対 象 施 設 数	<b>353施設</b>	357施設	<b>△4施設</b>
対 象 施 設 棟 数	<b>884棟</b>	887棟	<b>△3棟</b>
対象施設延床面積	<b>548,020.39 m<sup>2</sup></b>	548,573.23 m <sup>2</sup>	<b>△552.84 m<sup>2</sup></b>
対象施設敷地面積	<b>2,113,465.64 m<sup>2</sup></b>	2,121,153.60 m <sup>2</sup>	<b>△7,687.96 m<sup>2</sup></b>

(図表 1-2) 再配置対象とする公共施設 353 施設の内訳

(白書2013版)

大分類	小分類	例 示	旧西尾市	旧3町等	西尾市	
庁舎等	本庁舎、支所	水道庁舎、クリーンセンター、浄化センター、環境事業所など	4	7	11	
	消防庁舎、防災施設	防災倉庫、消防署など	41	33	74	
	その他の施設	コミュニティセンター、集会所、佐久島開発総合センターなど	12	5	17	
学校教育施設	小学校、中学校等		21	16	37	
	幼稚園		3	-	3	
	給食施設	学校給食センター	-	3	3	
生涯学習施設	社会教育施設	ふれあいセンター、公民館など	9	5	14	
	文化施設	文化会館、図書館、資料館、歴史民俗資料館、勤労会館など	8	8	16	
	スポーツ・レクリエーション施設	体育館、プールなど	3	9	12	
福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設	保育園、子育て支援センターなど	42	35	77	
	社会福祉施設・高齢者福祉施設	高齢者交流広場、老人の家など	14	13	27	
	医療保健施設	市民病院、保健センターなど	3	3	6	
市営住宅	市営住宅		11	21	32	
商工観光施設	商工観光施設	道の駅にしお岡ノ山、佐久島クラインガルテンなど	1	4	5	
その他	斎場	斎場	-	2	2	
	その他	駐輪場など	7	10	17	
※公園・緑地及び環境施設は除く			合 計	179	174	353

また、(図表 1-3) の再配置対象公共施設一覧表は、再配置対象施設を分類ごとにならべて、延床面積と敷地面積を一覧にしたものです。そして、その結果を円グラフで表示したものが、(図表 1-4) の再配置対象施設 延床面積 施設分類別内訳と(図表 1-5) の再配置対象施設 敷地面積 施設分類別内訳です。

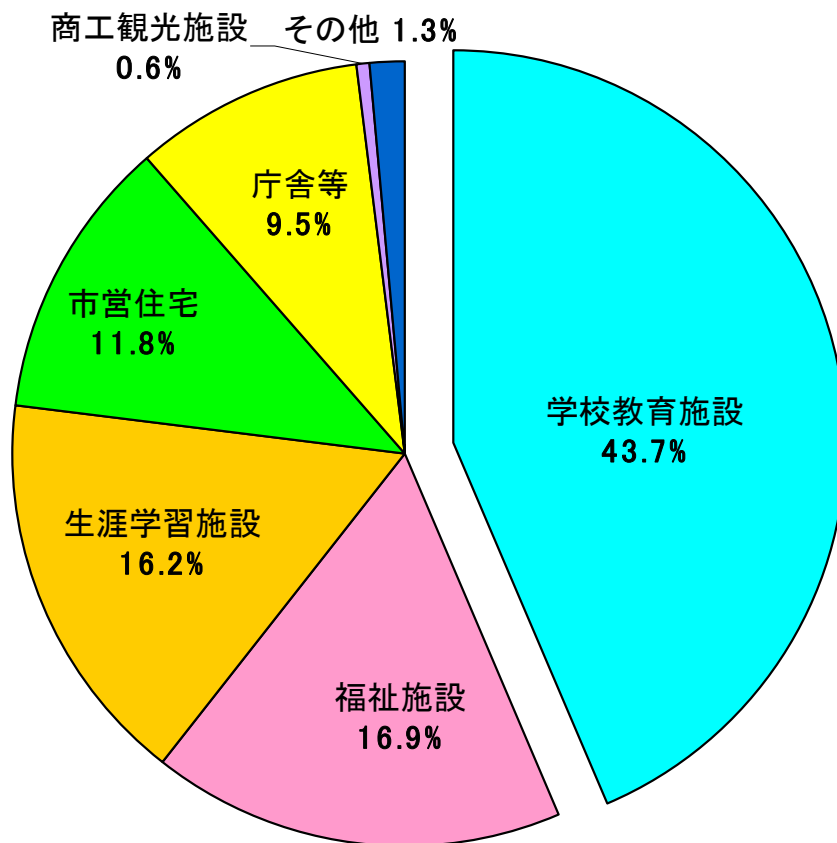
(図表 1-3) 再配置対象公共施設一覧表

(白書 2013 版)

大分類	小分類	例 示	施設数	延床面積	敷地面積
庁舎等	本庁舎、支所	水道庁舎、クリーンセンター、浄化センター、環境事業所など	11	37,615.40㎡	156,108.64㎡
	消防庁舎、防災施設	防災倉庫、消防署など	74	10,250.53㎡	43,255.33㎡
	その他の施設	コミュニティセンター、集会所、佐久島開発総合センターなど	17	4,006.89㎡	13,849.49㎡
	小 計		102	51,872.82㎡	213,213.46㎡
学校教育施設	小学校、中学校等		37	230,831.33㎡	876,422.33㎡
	幼稚園		3	5,646.40㎡	15,027.00㎡
	給食施設	学校給食センター	3	3,015.32㎡	8,769.00㎡
	小 計		43	239,493.05㎡	900,218.33㎡
生涯学習施設	社会教育施設	ふれあいセンター、公民館など	14	19,752.86㎡	81,920.02㎡
	文化施設	文化会館、図書館、資料館、歴史民俗資料館、勤労会館など	16	26,924.24㎡	339,272.35㎡
	スポーツ・レクリエーション施設	体育館、プールなど	12	42,138.01㎡	125,488.33㎡
	小 計		42	88,815.11㎡	546,680.70㎡
福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設	保育園、子育て支援センターなど	77	39,158.34㎡	152,705.86㎡
	社会福祉施設・高齢者福祉施設	高齢者交流広場、老人の家など	27	17,233.28㎡	27,011.14㎡
	医療保健施設	市民病院、保健センターなど	6	36,665.47㎡	60,323.96㎡
	小 計		110	93,057.09㎡	240,040.96㎡
市営住宅	市営住宅		32	64,716.95㎡	151,217.44㎡
商工観光施設	商工観光施設	道の駅にしお岡ノ山、佐久島クラインガルテンなど	5	3,168.48㎡	26,421.20㎡
その他	斎場	斎場	2	1,535.53㎡	22,411.20㎡
	その他	駐輪場など	17	5,361.36㎡	13,262.35㎡
	小 計		19	6,896.89㎡	35,673.55㎡
合 計			353	548,020.39㎡	2,113,465.64㎡

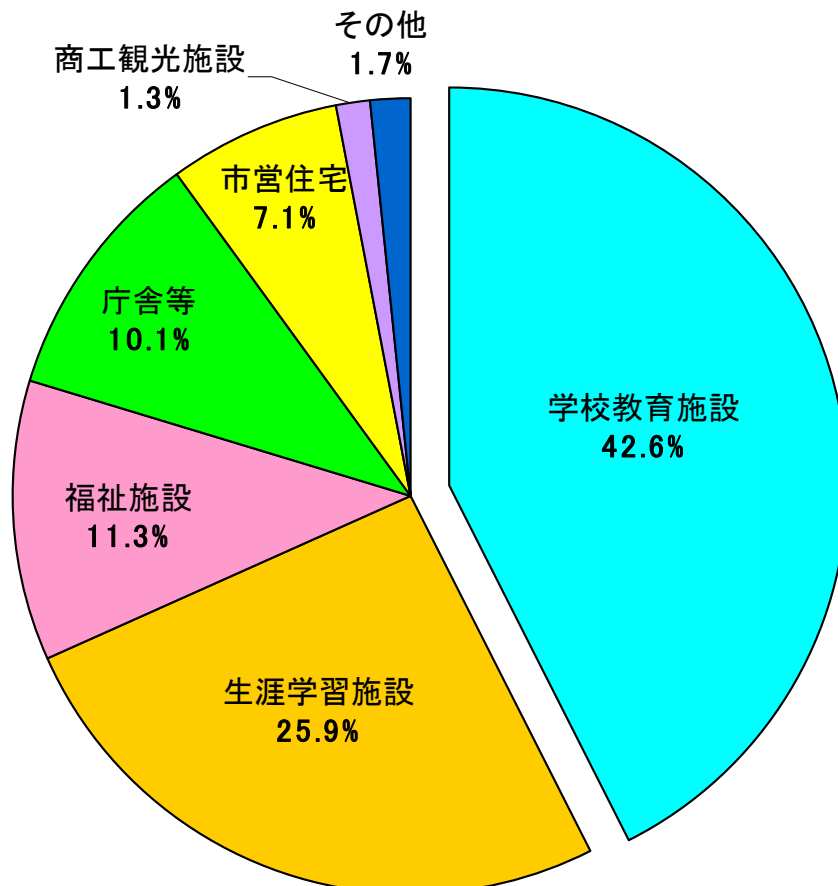
(図表 1-4) 再配置対象施設 延床面積 施設分類別内訳

(白書 2013 版)



(図表 1-5) 再配置対象施設 敷地面積 施設分類別内訳

(白書 2013 版)



### ■再配置対象公共施設の延床面積

再配置対象の公共施設の建物の延床面積は全体で548,020.39㎡になります。この延床面積データを大分類別にみた場合、学校教育施設が最も多く、延床面積は239,493.05㎡（白書2012：239,493.05㎡）で全体の約43.7%を占めています。次いで、約16.9%を占める福祉施設が93,057.09㎡（白書2012：92,596.84㎡）で、3番目が約16.2%を占める生涯学習施設が88,815.11㎡（白書2012：88,260.37㎡）になります。

なお、延床面積548,020.39㎡を、平成25年4月1日現在の人口、169,769人で割って、市民一人あたりの公共施設（再配置対象施設）の延床面積を算定すると約3.23㎡/人で白書2012と変わりありません。

### ■再配置対象公共施設の敷地面積

再配置対象の公共施設に関する敷地面積は、2,113,465.64㎡になります。この敷地面積データを大分類別で見た場合も、学校教育施設が最も多く、敷地面積が900,218.33㎡（白書2012：900,218.33㎡）で、全体の約42.6%を占めています。次は約25.9%を占める生涯学習施設で546,680.70㎡（白書2012：541,796.60㎡）、両施設で、全体の約68.5%になります。

なお、敷地面積2,113,465.64㎡を、延床面積同様、平成25年4月1日現在の人口169,769人で割って、市民一人あたりの公共施設（再配置対象施設）の敷地面積を算定すると約12.45㎡/人（白書2012：12.49㎡/人）になります。

平成24年度に空場なかよし園（空場保育園）に移転建替えされた児童発達支援センター・白ばら園

